



IWATE BANK NEWS LETTER

平成23年12月20日

各位

株式会社 岩手銀行

当行主幹事によるPFI事業向けプロジェクトファイナンスの融資について

岩手銀行（頭取 高橋真裕）は、国が実施するPFI事業「盛岡第2地方合同庁舎（仮称）整備等事業」について、同事業を受注した東亜建設工業グループが設立したSPC「盛岡第2合同庁舎整備運営株式会社」との間で、当行が主幹事となりプロジェクトファイナンスによる総額31億円のシンジケートローンの融資を行いましたのでお知らせします。

本事業の建設期間中に、東日本大震災が発生し震災当初は工事進捗の影響も危惧されましたが、各民間事業者のご尽力と行政機関、アレンジャーである当行並びに各融資参加者の協力により予定通り融資実行となりました。

なお、組成したシンジケートローンには、北東北三行共同ビジネスネット「略称：Netbox（ネットボックス）」に参加している青森銀行、秋田銀行のほか住友信託銀行が参加しております。

記

1. 事業概要

本事業は、総合的な耐震性能を確保した盛岡第2地方合同庁舎を新たに整備し、その維持管理・運営を行うもので、民間の資金・経営能力等のノウハウを活用して、良質・低廉な公共サービスの提供と民間の事業機会の創出を図るとともに、施設整備により周辺街区並びに周辺地域の活性化に貢献することを目的とした事業です。

2. 事業主体

本事業の事業主体となる民間事業者は、東亜建設工業株式会社（代表企業）、太平ビルサービス株式会社、日本電設工業株式会社、株式会社三晃空調、株式会社日総建、株式会社久慈設計が本事業実施のために設立したSPCの盛岡第2合同庁舎整備運営株式会社となります。

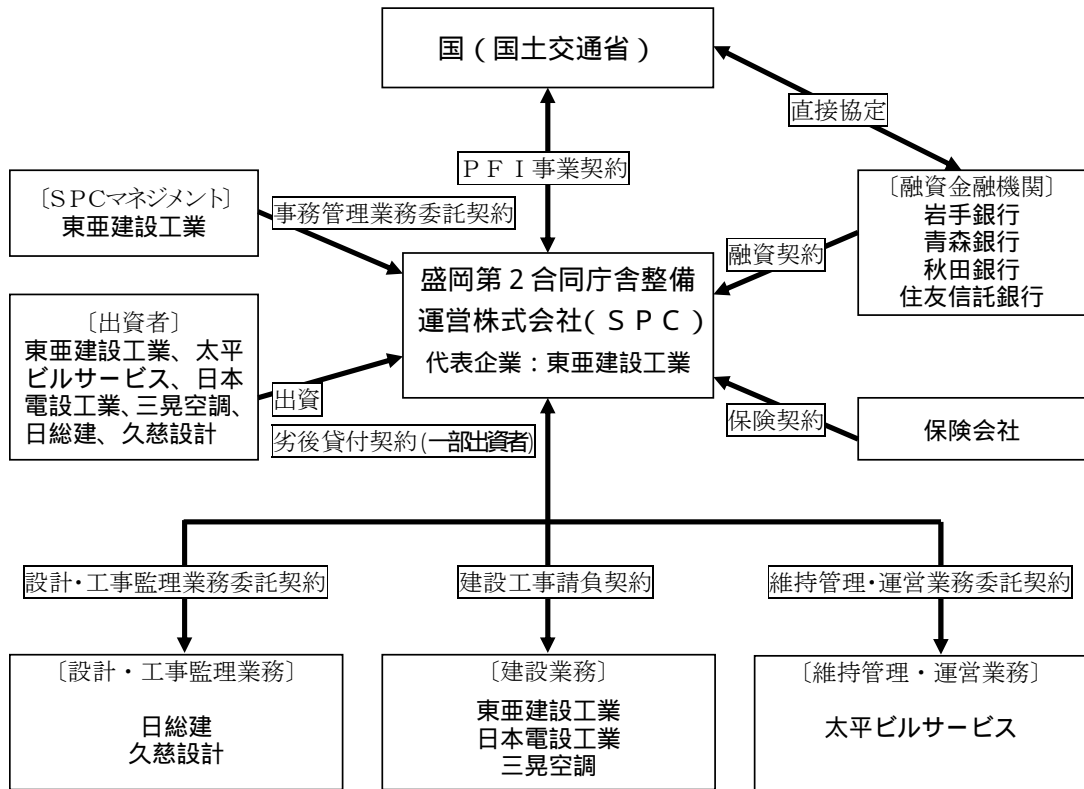
3. 融資概要

- (1) アレンジャー（主幹事）：株式会社岩手銀行
- (2) エージェント（事務代理人）：株式会社岩手銀行
- (3) 参加金融機関：株式会社青森銀行、株式会社秋田銀行、住友信託銀行株式会社

岩手銀行

- (4) 融資組成額：31億円
- (5) 融資実行日：平成23年12月20日
- (6) 契約締結先：盛岡第2合同庁舎整備運営株式会社
- (7) 融資形態：シンジケートローン方式によるプロジェクトファイナンス

4. 事業スキーム



5. 当行のPFIへの取組み

- (1) 岩手銀行は、実践的なPFI事業の考え方・実施手順等を研究していくとともにPFI事業に関する情報提供・啓蒙等にあたる目的で、平成15年1月に「いわてPFI研究会」を立ち上げ、地元におけるPFIを積極的に推進しています。
- (2) 今までの取組実績として、金ケ崎町の堆肥製造施設などのPFI的事業、そして、紫波町管理型浄化槽整備事業などのPFI事業に対して複数の融資実績があります。
- (3) プロジェクトファイナンスによる融資実行は今回が初めてとなりますが、蓄積したノウハウを活用し今後ともPFI事業へ取組み、震災復興のためのPFI・PPP事業へ積極的に参画し地域活性化に努めてまいります。

以上

※ プロジェクトファイナンスとは、あるプロジェクトの資金調達において、返済原資をその事業から生み出されるキャッシュフローのみに依存する融資手法をいいます。

<本件に関するお問合せ先>
 岩手銀行地域サポート部：久慈
 019-624-7011